

JRS

第77回
日本医学放射線学会
総会

JSRT

第74回
日本放射線技術学会
総会学術大会

JRC 2018

JSMP

第115回
日本医学物理学会
学術大会

ITEM

2018
国際医用画像
総合展

Innovative sciences and humanism in Radiology

夢のような創造科学と人にやさしい放射線医学



2018年4月12日(木)～15日(日)の4日間、JRC 2018が開催された。今回のテーマは「夢のような創造科学と人にやさしい放射線医学」。このテーマの下、第77回日本医学放射線学会(JRS)総会、第74回日本放射線技術学会(JSRT)総会学術大会、第115回日本医学物理学会(JSMP)学術大会の3つの学術集会と2018国際医用画像総合展(ITEM in JRC 2018)が行われ、会場となったパシフィコ横浜(神奈川県横浜市)には、連日大勢の参加者が集った。

30年を超える歴史を刻んできたJRC

放射線医学の国内最大規模の学術集会であるJRCの歩みは、1987年4月に日本ラジオロジー協会の前身となる日本医学学術集会振興協会(JMCP)が設立されたことにさかのぼる。JMCPは、JRSとJSRT、日本放射線機器工業会〔現・日本画像医療システム工業会(JIRA)〕の3団体で組織され、翌88年に第1回JMCP学術大会が東京(晴海)で開催された。その参加者はJRSが2402人、JSRTが3447人で、出展社数は84社であった。その後、2002年にJMCPをJRCと改め、さらに2005年からはJSMPも同時開催となるなど、30年の歴史の中で規模を拡大しながら、わが国の放射線医学の進歩に貢献。現在では、放射線医学における世界有数の学術集会となり、海外からも多くの参加者を集めている。2日目の4月13日(金)に行われた合同開会式において挨拶に立ったJRCの大友 邦代表理事(国際医療福祉大学)は、この30年の歩みを振り返り、放射線医学のさらなる発展に期待を寄せた。

合同開会式では、4団体の会長・大会長による基調講演も行われた。最初に登壇したJRS総会の今井 裕会長(東海大学)は、「日本医学放射線学会の将来構想」をテーマに、

①国家レベルでの臨床データに基づく放射線医療の適正化の体制構築、②新たな治療法を考慮した診断学の構築、③radiomicsやradiogenomics、人工知能(AI)の活用などの考えを示した。2番目に講演したJSRT総会学術大会の錦 成郎大会長(天理よろづ相談所病院)は、学会の歴史を紹介した上で、国際化や学際領域の研究といった今後の展望について説明した。続く、JSMP学術大会の小口 宏大会長(名古屋大学)も学会の歩みを取り上げた上で、海外の学会との交流を深めるなど関係強化を図り、国際貢献していくことをこれからの目標として挙げた。最後に、ITEMを運営するJIRAの小松研一会長が講演。小松会長は、政府が掲げる科学技術戦略「Society 5.0」に向けた医療分野でのICTとAIの利活用に言及し、JIRAとして進めるサイバーホスピタル構想について概説した。なお、合同開会式では、JRS総会の橋本 順実行委員長(東海大学)が司会を務めた。

「夢のような創造科学」と「人にやさしい放射線医学」につながる合同企画

JRC 2018の4日間のスケジュールでは、合同企画として、合同特別講演が1題、合同シンポジウムが3セッション用意さ



大友 邦
JRC 代表理事



今井 裕
JRS 会長



錦 成郎
JSRT 大会長



小口 宏
JSMP 大会長



小松 研一
JIRA 会長



合同開会式司会
橋本 順
JRS 総会実行委員長



Honorary Member Award Ceremony



JRS 総会特別企画 1 : Part 2
Special Talk Session
(左から原 辰徳氏, 今井 JRS 会長, 井上康生氏)

疫療法：患者さんの役に立つことを目指した研究開発経緯を中心に」が行われた（合同特別講演，合同シンポジウムは 60～64 ページ参照）。

次回テーマは
「革新的な放射線医学を
—患者に寄り添って—」

JRC 2018 の参加者数は、JRS が 5793 人、JSRT が 4671 人、JSMP が 1065 人、非会員が 1332 人であった。

れた。また、演題数は、JRS 総会が口述発表 285 題、展示発表 143 題、JSRT 総会学術大会が口述発表 514 題、展示発表 34 題、JSMP 学術大会が口述発表 125 題であった。

2 日目の 4 月 13 日の合同開会式と Honorary Member Award Ceremony に続き行われた合同特別講演では、ノーベル化学賞受賞者の田中耕一氏（島津製作所）が登壇。「分析と医用の融合によるヘルスケアの新展開のために」をテーマに講演した。また、同じく 13 日には、大会テーマにある「人にやさしい放射線医学」にも関連する合同シンポジウム 1「医療被ばく低減に向けての取り組み」が行われた。このシンポジウムでは、国際放射線防護委員会（ICRP）議長の Claire Cousins 氏による基調講演“ICRP and Priorities for Radiological Protection in Medicine”が設けられた。さらに、4 月 14 日、15 日には、もう一つの大会テーマ「夢のような創造科学」にもつながる合同シンポジウム 2「本質に迫る研究をしよう！：前臨床研究へのお誘い」（14 日）と合同シンポジウム 3「放射線診療における Radiomics 研究の現状」（15 日）が組まれた。このうち、合同シンポジウム 2 では、米国国立衛生研究所（NIH）の小林久隆氏の招待講演「がんの近赤外光線免

また、過去最高の 167 社が出展した ITEM 2018 の入場者数は、2 万 2220 人を記録した。4 月 15 日の 15 時からメインホールにて、4 日間の掉尾を飾る CyPos 合同表彰式と合同閉会式が行われた。JSMP 学術大会の林 直樹実行委員長（藤田保健衛生大学）が司会を務め、JRC の大友代表理事のほか、4 団体の会長・大会長が出席。さらに、JRC 2019 における第 78 回 JRS 総会会長の山下康行氏（熊本大学）、第 75 回 JSRT 総会学術大会大会長の石田隆行氏（大阪大学）、第 117 回 JSMP 学術大会大会長の蓑原伸一氏（神奈川県立がんセンター）も紹介された。JRC 2019 は、テーマである「革新的な放射線医学を—患者に寄り添って—」の下、2019 年 4 月 11 日（木）～14 日（日）の日程で開催を予定している。

インナビネットで「ITEM 2018 ブースレポート」公開中！
<http://www.innervision.co.jp/report/item/2018>



☞ スマホはこちらから



山下康行
第 78 回 JRS 総会
会長



石田隆行
第 75 回 JSRT 総会
学術大会大会長



蓑原伸一
第 117 回 JSMP
学術大会大会長



CyPos 合同表彰式
合同開会式司会：林 直樹
JSMP 学術大会実行委員長



JRC 2018 を締めくくる CyPos 合同表彰式
(詳細はインナビネット参照, http://www.innervision.co.jp/report/item/2018/jrc2018/jrc2018_closing)